

わたしの 妊娠報告書

記載日 419 年 2 月 日

おめでた宣言日	419 年 1 月
年齢 (36) 歳	平成 (10) 年 (10) 月 結婚
私は (体外受精)	で妊娠しました。

不妊治療歴	(0) 年 (6) ヶ月
他院での治療歴	なし (あり) → 内容 (タイミング法、排卵誘発)
ASKAでの治療歴	
一般不妊治療	
<input type="checkbox"/> 自然排卵	タイミング法 (2) 回
<input type="checkbox"/> 排卵誘発	タイミング法 (1) 回
<input type="checkbox"/> 自然排卵 + 人工授精	() 回
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 + 人工授精	(6) 回
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST 法	() 回
<input type="checkbox"/> 体外受精	(/) 回
<input type="checkbox"/> 顕微授精	() 回

妊娠の秘訣・心がけていた事

体外受精をあと決めてからは、体を冷やさないこと、ストレスをためないよう
 やつとした気分を避けること、食事、睡眠のリズムをできるだけ規則正しくする
 心がけてました。肝移植から妊娠判定までは、動作もゆっくり、極力
 横に休んでました。(先年からは普段通りの生活リズムを言われていたから)

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

人工授精から体外授精へのステップアップ時に、私と主人との間、意識差がかなりあり、主人を説得して体外授精をすまのに数ヶ月かかってしまいました。体外授精では一度目に妊娠できたが、受精に障害がある可能性もあり、私たちにとしては、この治療法がBESTだったと感じています。

その他 (通院・治療費・家族など)

33歳からの不妊治療スタート。最初はおんびり構えていたのが次第にあせる気持ち強くなり、ストレスがたまっていました。私は早くステップアップしたかったのが、夫にも糸内得してもらった上で治療をあきらめたかったのど、何度も話し合っていました。長くかかってしまいましたが、必要な時間だったと思います。

治療中の方へのアドバイス

ASKAに来ると、不妊治療をがんばっている人が私以外にもたくさんいたと励まされました。何度もあきらめてしまおうに決まっていたが、「きっとできる」と信じて続けてあげたと思います。

スタッフへのご意見など

仕事を休んでばかりの治療だったので、時間の変更や、朝早い時間の対応等、スタッフの方にはいろいろ迷惑おかけしました。その都度親切に対応して頂きありがとうございました。